

# 学生チャレンジプロジェクト報告

本プロジェクトも3年目となりました。今年もアイデア溢れる6プロジェクトが選ばれました。メンバー学生は、自ら立てた計画を達成するため、約半年間意欲的に活動してきました。次回も多くの学生のチャレンジを期待しています。

## 平成25年度学生チャレンジプロジェクト採択一覧

No.	プロジェクト名	部門	代表学生
1	フリースケール・カップ 初岡南チーム	コンテスト参加	電気工学科4年 初田 達彦
2	Project ISON ～ほうき星を探して～	ものづくり	情報工学科2年 寒川 翔太
3	グリーンカーテンの設置と自動給水システムの作製プロジェクト	ものづくり	電気工学科4年 川原 翔太
4	3次元モデル周りの流れの可視化および可視化風洞の試作	コンテスト参加	機械工学科4年 北園 一将
5	Marvellous Vision	ものづくり	電子情報工学専攻1年 矢鋪 知哉
6	RoboRoboDance	ものづくり	電子制御工学科4年 森本 翔太

## Project ISON ～ほうき星を探して～…成果報告

情報工学科2年 花高 潤、松本翔太、徳田 義行  
物質化学工学科2年 谷口 雄介



プロジェクトメンバー

数十年に一度の大彗星と言われているISON彗星の接近を知り、私達天文好きの学生が集まり観望会を開くことを計画しました。しかし高専生たるもの市販の望遠鏡を使うのでは面白くない!そこで学生チャレンジプロジェクトに応募し、自ら反射望遠鏡を作成することにしました。とは言うものの誰一人その経験を持ち合わせておらず、材料集めから組み上げに

至るまで様々な工夫をこらし、完成にこぎつけることができました。残念ながらISON彗星は蒸発してしまい、代わりの観望会も悪天候により中止となってしまいましたが、はじめは9名だったメンバーも現在では十数人になり、作成した望遠鏡は今後の活動に役立てていきたいと思っています。

至るまで様々な工夫をこらし、完成にこぎつけることができました。残念ながらISON彗星は蒸発してしまい、代わりの観望会も悪天候により中止となってしまいましたが、はじめは9名だったメンバーも現在では十数人になり、作成した望遠鏡は今後の活動に役立てていきたいと思っています。



望遠鏡を作成中

## 産学交流室から

産学交流室長 早川 恭弘

奈良高専産学交流室は、企業からの技術相談、企業との共同研究、受託研究、展示会展など、企業と本校教員との橋渡しを行っています。特に、技術相談では、本校のコーディネータが2名対応しており、年々相談件数が増え、平成24年度は278件となっています。これは、コーディネータが企業と本校教員シーズのマッチングを積極的に行っている成果です。そして、技術相談から共同研究や受託研究となる事例も増えており、本校産学官連携活動は年々活発になっています。また奈良高専は近畿7高専の拠点校に位置づけられており共同企画の立案をしています。この12月6日には「近畿7高専産学官マッチングフェア」と題し先生方のシーズ発表や企業のポスター出展などで交流を図りました。動員実績は158名と多くの方に参加いただきました。

人材育成事業に関しては、平成19年度に採択された「元気なら組み込みシステム技術者の養成」が平成23年度まで実施されました。そして、本事業は平成24年度に自立継続化を行い、技術者・企業グループである“GENETコミュニティ”を立ち上げています。さらに、平成24年度より奈良高専産学交流講座として、「新ベーシックコース ～ゼロから始める組み込みシステム基礎講座～」を年6回開催しています。また、奈良県産業振興総合センターとのIT関連の体験セミナーを共催し、人材育成の一端も担っています。

今後も引き続き産学官連携を推進していきたいと思っていますので、皆様のご理解ご支援を宜しくお願い致します。



「PICAメッセ」に出展



出展した展示会の様子

